

# 進路指導部通信

県立高等特別支援学校

進路指導部

令和になって初めての年末を迎えています。11月22日（金）には、1年生、2年生の皆さんの現場実習も終了し、実習中や実習反省会の中で課題として教えていただいたことを、普段の学校生活で、改善に向けて努力していることと思います。



12月に入り、現場実習のお礼状を実習先の企業に持参した際には、実習を担当してくださった社員の方から、「挨拶がとてもよくできていた」「用意していた作業をすべてやり遂げてくれて、職場としても助かった」など嬉しいお話も聞かせていただきました。その一方で、「職場のルールが守れない」「メモがとれない」「働く意欲が感じられない」「実習生の選考はどうなっているのか」など、厳しいご意見もうかがってきました。

人手不足、求人数の増加が言われている昨今ですが、「働く基本」ができていない人は、決して企業では採用・雇用されないことを、生徒、保護者の皆様、教職員で再確認したいと思います。

12月25日（水）からは、冬休み入ります。どうぞよい年の瀬、新年をお迎えください。また3学期には、元気に学校生活を送ることができるよう、保護者の皆様には、体調管理について、ご家庭でもご指導よろしくお願い致します。

## 就職1年後の職場定着率について

障害者雇用の求人に応募し、企業へ就職した人は、その会社で長く働き続けているのか…？ このことは、保護者の皆さんにとっても気になることだと思います。少し前の資料になりますが2017年に出された統計によると、知的障害を持つ方の1年後の職場定着率は68%でした（サンプル数497名）。ちなみに、一番定着率が高いのは、発

達障害の方で71%（サンプル数242名）、身体障害の方は60%（サンプル数1328名）、精神障害の方が49%（サンプル数1206名）でした。

また、求人種類別の定着率では、障害者求人に応募して採用された（いわゆるオープン就職の）方の場合、1年後の定着率は70%（サンプル数1923名）です。対して、一般求人に対して障害を非開示で応募し採用された（いわゆるクローズ就職の）方は、定着率が30%（サンプル数603名）となっています。

このことから、障害者就労をした人が10名いるとすると、1年後その職場で継続して働いている人数は約7名というのが、大まかなイメージになります。ちなみに、本校を卒業し企業へ就労して現在1年6ヶ月を経過した卒業生の場合、就職した37名のうち離職者が3名いるので、定着率は91%となります。この数字は、卒業生の在校時や卒業後の頑張り、職場の理解のおかげではないかと思います。

出典：障害者の就業状況等に関する調査研究（2017 J E E D）